

観光地整備の機能強化は

町「那須高原友愛の森」は、国際観光地案内拠点に

問 地方創生拠点となる「那須高原友愛の森」は重点道の駅として国土交通省より推定されたが、国際観光地として、外国人観光客のニーズに合ったサービスの提供や、道の駅の機能強化を今後どのように取組むのか。

観光商工課長 昨年6月に那須インバウンド協議会

が新たに設立され、受け入れ態勢の整備を進めている。現在、英語、タイ語、中国語表記によるパンフレットを作成し旅行博にPRをしている。

問 道の駅「那須高原友愛の森」を那須町の観光拠点として観光情報が全て分かる体制を考えているか。

観光商工課長 外国人案内の拠点として、ガイド力強化と、デジタル的な案内や、最新技術なども取り揃えた案内を考えている。

問 観光客を受け入れる体制として、大谷地域に公衆トイレの設置の考えは。

観光商工課長 交通量や入込、渋滞状況などを考慮し調査研究して行く。

健康増進事業の推進は

町健康マイレージ事業の導入に向け検討

問 健康的な生活習慣を身に付け、町の健康診断や各がん検診を受診し、運動をチャレンジする事でポイントを与える健康マイレージ事業を推進する考えは。

町長 町民の健康づくりの動機づけや運動習慣の定着を促進することで、実施している市町も現にある。

本町では特定健康診査の受診率が県内平均よりも低い状況で、運動習慣の実施率も低い方である。平成25年3月に設定された那須町健康増進計画によると、多少運動習慣の割合は高くなっ

て来ているが、県や国との比較ではまだまだ低い状況である。

町民の健康づくりを推進する動機づけとして大変有意義であることから、今後、健康マイレージ事業の導入に向けて検討していきたい。



松中キミエ



運動週間で健康づくり



国際観光拠点と期待される「那須高原友愛の森」